



2012年5月28日

ユニーは、植物由来の 「バイオマスプラスチック」が原料の有料レジ袋を採用！

CO2削減効果：100%石油由来のものに比べて17%削減

— イズミヤ・ユニー・フジの共同企画 —

ユニー株式会社(本社:愛知県稲沢市、代表取締役社長:前村 哲路 まえむら てつろ)は、2007年6月よりレジ袋無料配布中止を進めてまいりましたが、この度、更に2012年6月より原料を植物由来のバイオマスプラスチックを25%使用した有料レジ袋を採用することとなりましたのでお知らせいたします。

さらに、ユニーだけではなく、イズミヤ・フジのレジ袋無料配布中止店舗でも共通なので、広い地域のたくさんのお客様にも使っていただけます。

ユニーは、今後も「環境にやさしいお買い物」による持続可能な環境活動をお客様と一緒に進めてまいります。

従来のレジ袋は石油由来のプラスチック(ポリエチレン)を原料にしてきましたがバイオマスプラスチックを原料にすることにより、限りある化石資源である石油を節約



使い終わった後に焼却する際に排出するCO2は、植物が光合成する際に大気中から吸収したものを還元することになるので、地球上のCO2は増えません。



さらに原料である植物はサトウキビで、搾り汁から砂糖を製造した後の残液部から製造するので食糧との競合はありません。

記

【バイオマスプラスチック25%のレジ袋について】

- ◆仕様 : サトウキビ原料のバイオマスプラスチック(バイオマスポリエチレン)を25%使用
[サイズ]横 480×縦 570mm [厚さ]23μ [重量]10.4g/枚
※バイオマスマークの認定取得製品(一般社団法人 日本有機資源協会認定)
- ◆強度 : 従来品と同等
- ◆使用開始 : 2012年6月1日(金) より順次
- ◆対象店舗 : アピタ・ピアゴのレジ袋有料化店舗
※イズミヤ・フジのレジ袋有料化店舗
- ◆店頭売価 : 5円(消費税込)
- ◆CO2削減効果 :

100%石油由来のものに比べて17%削減

ユニーとしては、CO2を262,231kg 削減 (試算:福助工業) 【レジ袋のデザイン】

(原料、製造から焼却までの各過程から排出されるCO2量から合算)



【本件に関するお問合せ先】

ユニー(株)環境社会貢献部 百瀬 0587-24-8093